

評価 担当者	課名	氏名	内線
	学校教育課	小林一彦	3110

コード	V-12-29	施策名	学校と地域、家庭の連携の推進
施策の 方針	ふるさとを担うたくましい人材を育てる		
まちづく りの 方針	磨き輝き続ける市民がつながり、臼杵っこが育つまち(学び)		
施策の 目的	「子どもは地域の宝」であることを大人が再認識し、子どもを見守ることができるように、学校・地域・家庭の役割分担を明確にし、学校と地域・家庭の連携を強化します。地域が教育に関わることにより、子どもたちが郷土に誇りを感じ、「うすき大好き臼杵っこ」がまちに溢れることを目指します。学校や公民館を拠点として高齢者が伝統や文化に関する知識や技能を子どもや地域に還元する仕組みをつくり、子どもから高齢者までが連携して活動することにより、学校と地域の連携を強く推進していきます。		
施策の 内容	<ul style="list-style-type: none"> 学校・地域・家庭がつながりを深め、教育活動にゆとりを持たせるため、年6回土曜日に授業を行いません。 地域の方々が先生となって教える、放課後子ども教室を開催します。 学校・地域・家庭の連携を深めるため協育ネットワークを構築します。 身についた知識や技術を地域社会に還元する仕組みづくりを行います。 		

<指標>

新規 指標	指標名	説明・算式・引用	実績の推移					H31目標値 上段：当初 下段：現在		
			単位	H26	H27	H28	H29		H30	
	土曜ふれあい学校など、学校の活動を地域の人と一緒に行う学校の割合	市内小中学校で、地域の人と一緒に活動を行なう回数が年間3回以上実施する学校の割合	目標						100.0	
			実績	%		100.0	100	100	100.0	
			達成率	%	-	100.0%	100.0%	100.0%		
	地域活動に参加した小中学生の割合	全国学力・学習状況調査	目標	%	60	60	60	65	65	70.0
			実績	%	59	57	61	53		
			達成率	%	98.3%	95.0%	101.7%	81.2%		
	放課後児童クラブ開設率	小学校区において放課後児童クラブを開設している割合	目標	%	100	100	100	100	100	100.0
			実績	%	85	85	85	85		
			達成率	%	84.6%	84.6%	85.0%	85.0%		
	「協育」や「健全育成」に関する学習会・研修会の回数	学校・地域・家庭が協力する「協育」を推進するための学習会や研修会の実施回数	目標	回		6.0	9.0	9.0	9.0	15.0
			実績	回	-	8.0	8.0	9.0		10.0
			達成率	%	-	133.3%	88.9%	100.0%		
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						

指標の分析

学校・家庭・地域が協働して計画的に取り組む土曜ふれあい学校は、地域に開かれた学校づくりの一環として、それぞれの地域の特色を生かしたふれあいの場づくりや授業公開を行い、全ての学校において実施しています。地域活動に参加した小学生は50.1%、中学生は、55.8%で小学生の参加率が昨年より低下しています。放課後児童クラブ設立については、今年度新たな開設はなく、昨年と同じ割合となっています。社会教育課を中心として協育ネットワークづくりを行っていますが、研修会の実施が年度により回数異なります。今後定期的に、計画的に実施する必要があります。

<市民意識調査結果>

	領域名	必要度	満足度
市民意識調査結果 (H29調査)	維持領域	2.36	1.63
市民意識調査結果分析	<p>・平成29年度実施のアンケート結果では、「必要度」「満足度」とも高く、「維持領域」に位置しており、取り組みの維持・継続が望まれています。</p> <p>・平成29年度実施のアンケート結果では、「必要度」「満足度」とも高く、「維持領域」に位置しています。学校や地域の特色を生かして地域と協働しつながりを深めながら継続して取り組んでいく必要があります。</p>		

満足度

2.05

1.90

1.75

1.60

1.45

1.30

1.15

1.85 2.00 2.15 2.30 2.45 2.60 2.75

必要度

<次年度以降の課題>

平成30年度以降の課題	土曜ふれあい学校については、年6回開催し、そのうち3回程度は地域との交流の内容としており、今後さらに学校や地域の特色を生かして地域人材を活用しながら地域と協働で取り組む必要があります。しかし、小学校の英語活動や道徳科の導入により、授業時間の確保が必要であり、土曜ふれあい学校の時間数の持ち方など見直しが必要です。地域との連携により子どもを育てるためにも、地域活動に積極的に参加する子どもたちの育成が必要ですが、クラブチームの活動や習い事など子どもたちの生活が忙しくなっている現状があります。地域の見守りの協力体制づくりのための仕組みづくりも必要です。
-------------	---

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費（単位：千円）			課長評価	公共5カ年	他の関連施策コード
				H28年度実績	H29年度実績	H30年度見込み			
1	総合学習補助金交付事業	学校教育課		2,265	2,169	2,169	継続		V-12-27
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
合計				2,265	2,169	2,169			

<施策の今後の展開 ～担当課長評価>

進捗状況	地域に開かれた学校づくりや地域住民の協力による学校運営を行うコミュニティスクール(平成32年度までにすべての小中学校がコミュニティスクール化)の内容を充実させる必要があります。小中学生を地域活動に参加させるためにも土曜ふれあい学校とコミュニティスクールを連動させて地域の方とふれあう機会を充実させていく必要があります。	課長評価
概ね順調		目標を達するため、現状維持とする

<施策の今後の展開 ～内部評価（内部検討会）>

進捗状況		内部評価
-		-

<臼杵市行財政活性化推進委員会による外部評価：最終>

評価のコメント	外部評価
	-

<臼杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組>

--